

木曽川水系流域治水プロジェクトについて

国土交通省 中部地方整備局
木曽川上流河川事務所
木曽川下流河川事務所
令和2年9月17日

1. 流域治水プロジェクトについて

【背景】

- 令和元年東日本台風をはじめ、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨など近年激甚な水害が頻発
- さらに、今後、気候変動による降雨量の増大や水害の激甚化、頻発化が予測
- このような水害リスク増大に備えるために、河川・下水道等の管理者が主体となって行う対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、その流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」への転換を進めることが必要

流域治水プロジェクトを示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していくことが、国土強靱化年次計画2020、国土交通省「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」などにおいて示される。

流域治水協議会

【協議会設置の目的】

- 流域全体で緊急的に実施すべき流域治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水を計画的に推進。

2. 木曽川水系流域治水協議会について

【協議会の目的】

令和元年東日本台風及び令和2年7月豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、木曽川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」（流域全体で水害を軽減させるための治水対策）を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

【協議会の実施事項】

1. 木曽川水系で行う流域治水の全体像を共有・検討
2. 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
3. 「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況のフォローアップ
4. その他、流域治水に関しての必要な事項

流域治水プロジェクトに記載する事項

河川に関する対策

- ◆ 国や都道府県等の河川整備計画に基づき進められている河川整備やダム建設の状況等を確認・点検し、記載。

流域に関する対策

- ◆ 流域の特性に応じて、これまでの取組の状況等の共有のほか、各構成員がそれぞれ又は連携して実施する具体的な施策を検討し、記載。
(例：流出抑制に関する対策、利水ダムに関する対策等)

ソフト対策

- ◆ 情報伝達、避難計画、水防に関する事項等、大規模氾濫減災協議会等における取組の状況等を確認・点検し、記載。

3. 河川における主な対策事例

長良川遊水地の整備

越流堤

横越地区

池尻地区

新丸山ダムの整備

丸山ダム天端標高 EL.190.000m

新丸山ダム天端標高 EL.210.200m

丸山ダム

新丸山ダム

47.5m

20.2m

部分は新丸山ダムの完成時に撤去します。



堤防整備

特殊堤撤去

築堤・護岸

濃尾大橋

木曽川

水門川排水機場の改築等

旧水門川排水機場

新水門川排水機場

ポンプ損傷腐食状況

地震・津波対策

川側 (川表)

住居側 (川裏)

概念図

現堤防

沈下後堤防 (対策後)

沈下後堤防 (対策前)

海抜 0m

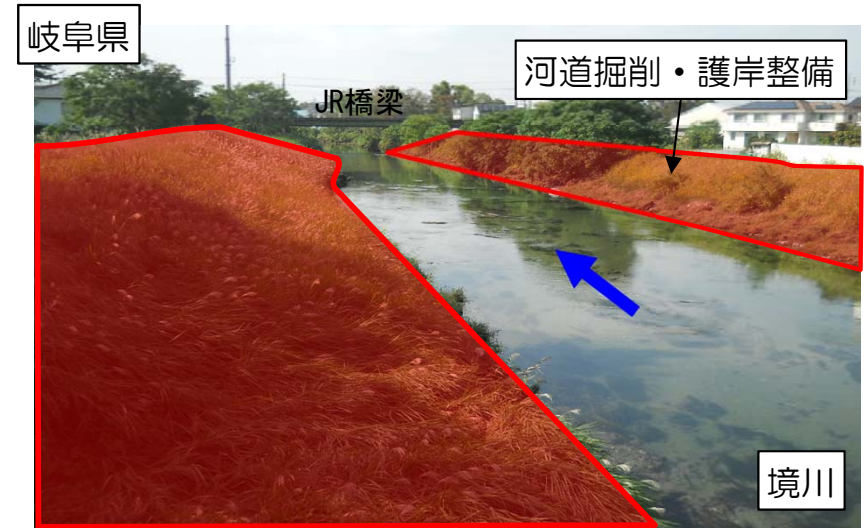
平均年最大観測水位の高潮

3. 河川における主な対策事例

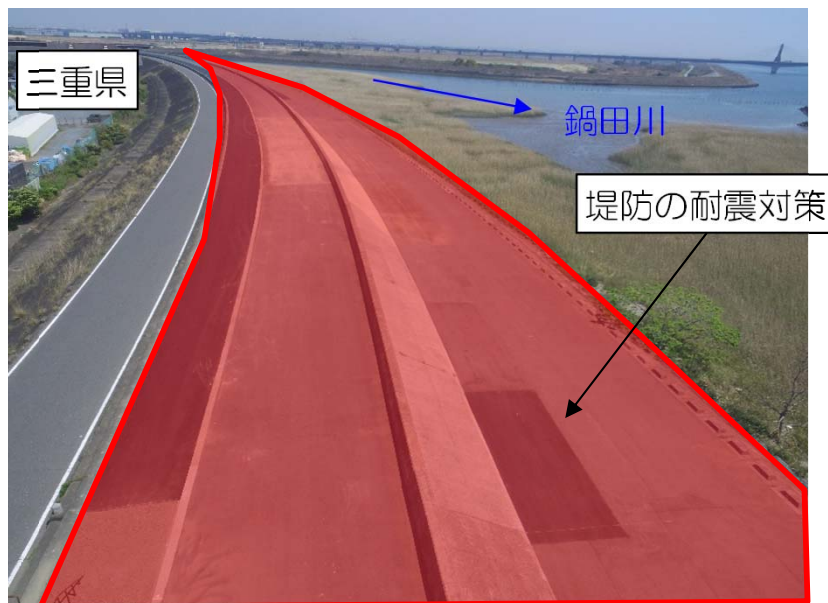
○ 木曾川水系における4県の河川に関する対策事例



新郷瀬川における治水対策（犬山市）



境川における河川対策（岐阜県岐阜市）



鍋田川における耐震対策（三重県桑名郡木曾岬町）

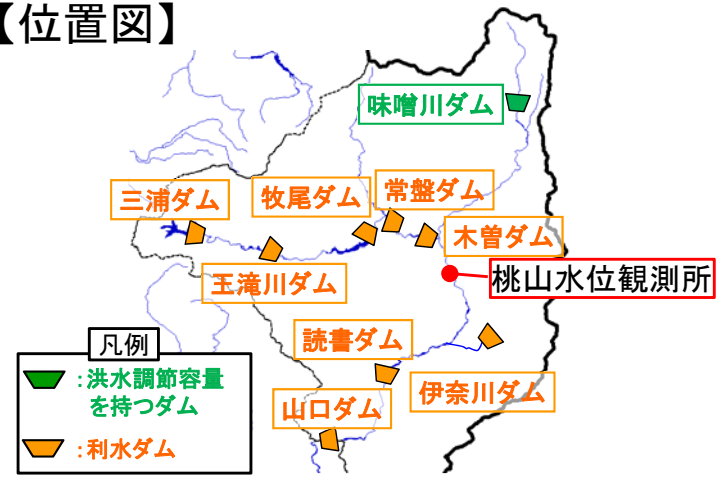


木曾川における河川対策（南木曾町）

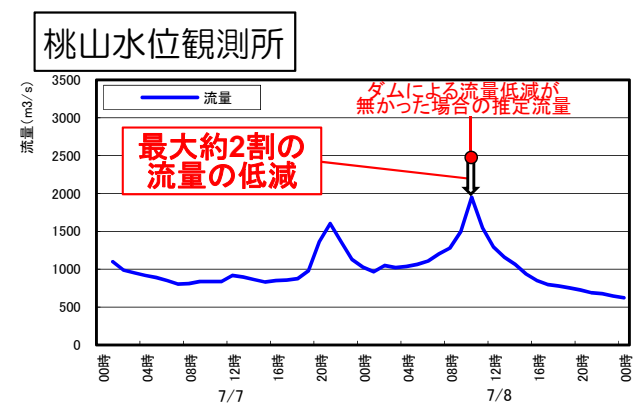
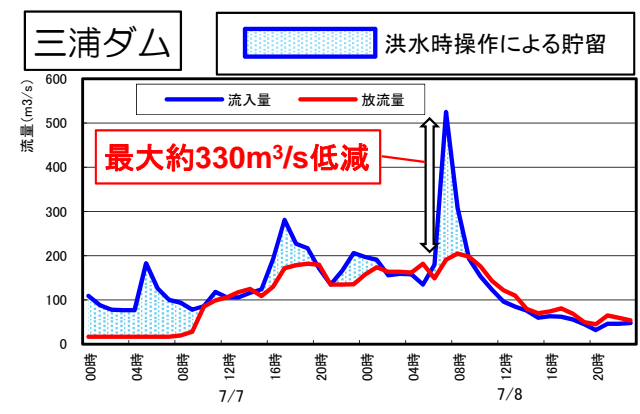
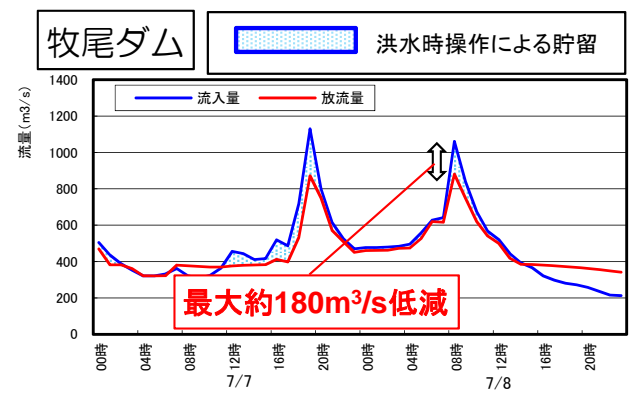
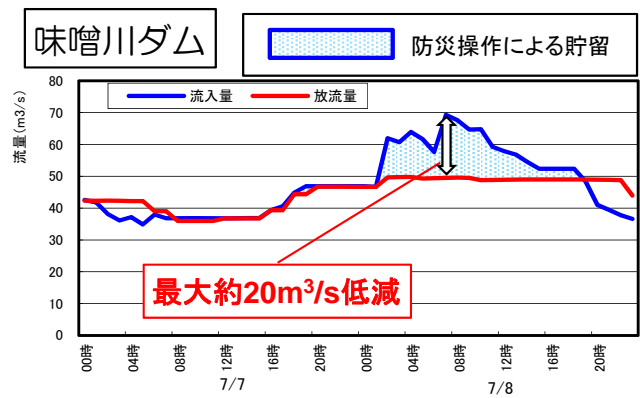
4. 流域における主な対策事例(事前放流の取組)

- 令和2年7月豪雨において、長野県内の木曾川では、味噌川ダムの洪水調節容量(1,200万 m^3)に加え、牧尾ダムや三浦ダムなど、8つの利水ダムにおいて、「一時的に治水に活用できる容量」として約4,200万 m^3 を確保※1
- はん濫危険水位に達していた桃山水位観測所地点における流量を2割ほど減らす効果があったと推定

【位置図】



【主なダムの操作状況と水位状況】



※1 容量を確保するための貯水位低下のほか、容量が確保済みのダムにおいては、現在の貯水位をできるだけ維持。

5. 主なソフト対策事例

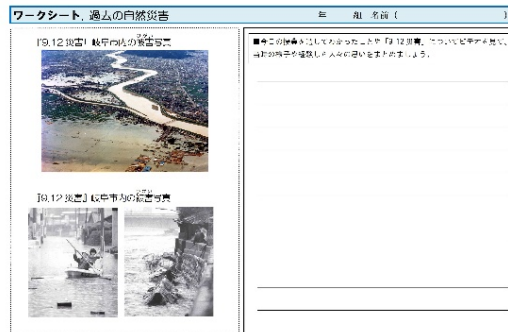
防災教育

- 学校や教育委員会と連携した防災教育の充実のために、出前授業に加え、教材作成等を実施。
- こどもたちと行政で、「防災教育で学んだこと」、「大水害に備えて行政とこどもたちにできること」をテーマにパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催。

国土交通省職員による出前授業



教材の提供(ワークシートの例)



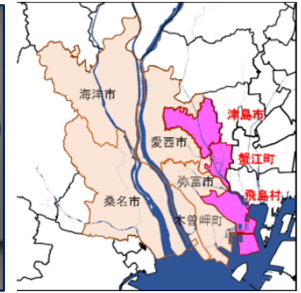
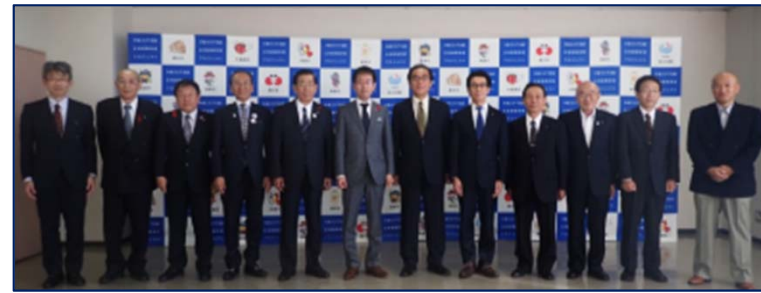
伊勢湾台風から60年 未来へつなげる防災教育こどもサミット (令和元年11月開催)



木曽三川下流部 広域避難実現プロジェクト

木曽三川下流部広域避難実現プロジェクトの設立

- 木曽三川下流部において高潮や洪水氾濫による大規模かつ広域な浸水被害が発生した場合でも、犠牲者をゼロにすることを目的に広域避難実現プロジェクトを平成28年度に設立。
- プロジェクトは木曽三川下流部沿線5市町村に氾濫域にある3市町村を加えた8市町村と木曽川下流河川事務所で構成。



木曽三川下流部高潮・洪水災害広域避難計画(第1版)の策定

- 浸水想定区域外への自主的な早期広域避難を促す「自主的広域避難情報(広域避難の呼びかけ)」の発表及び実施体制をとりまとめた「木曽三川下流部高潮・洪水災害広域避難計画(第1版)」を令和2年8月に策定。

- 今後は、訓練等をとおして計画をより実効性の高いものにするとともに、「逃げ遅れた住民の緊急避難体制の確立」、「避難行動要支援者の避難」といった課題について検討。

